

令和4年度

第1回 中津川市国民健康保険運営協議会

日 時 令和4年5月18日(水) 午後2時から
場 所 健康福社会館 2階 健康教室

1. 委嘱書の交付
2. 開会
3. 副市長あいさつ
4. 会長あいさつ
5. 令和4年度国民健康保険料率の諮問について

6. 議 題

議第1号 令和4年度国民健康保険料の料率（案）について 資料1

議題2号 中津川市国民健康保険条例の一部改正について 資料2

7. その他

保健事業について 資料3

8. 閉会

議第 1 号 令和 4 年度国民健康保険料の料率（案）について

令和 4 年度国民健康保険料の料率について、中津川市長から意見を求められたので、中津川市国民健康保険条例施行規則（平成 27 年中津川市規則第 53 号）第 2 条第 2 号の規定により、審議するものとする。

令和 4 年 5 月 1 8 日提出

中津川市国民健康保険運営協議会長

【料率案】

| | |
|----------------------------|--------------|
| 基礎賦課額の所得割 | 6. 8 9 % |
| 基礎賦課額の均等割額（一人当り） | 2 8, 5 0 0 円 |
| 基礎賦課額の平等割額（一世帯当り） | 1 9, 7 0 0 円 |
| 後期高齢者医療支援金等賦課額の所得割 | 2. 4 9 % |
| 後期高齢者医療支援金等賦課額の均等割額（一人当り） | 1 0, 1 0 0 円 |
| 後期高齢者医療支援金等賦課額の平等割額（一世帯当り） | 7, 0 0 0 円 |
| 介護納付金賦課額の所得割 | 2. 1 9 % |
| 介護納付金賦課額の均等割額（一人当り） | 1 1, 2 0 0 円 |
| 介護納付金賦課額の平等割額（一世帯当り） | 5, 7 0 0 円 |

令和 4 年度国民健康保険料の料率（案）について

1. 令和4年度の国民健康保険料について

◆ 経緯

- ・国民健康保険の財政運営は、制度改革により平成30年度から県が責任主体となり国保運営の中心的役割を担っています。保険給付に必要な費用は、県が各市町村へ交付、その財源として各市町村から国民健康保険事業費納付金（以下「納付金」という。）を徴収しています。各市町村は県への納付金及び保健事業など国保運営に必要な費用を保険料として決定します。

◆ 現状と課題

- ・人口の減少、後期高齢者医療への移行、就業構造の変化等高齢化とともに被保険者の減少が今後も続くことが見込まれます。
- ・医療の高度化や被保険者の高齢化により一人当たり保険給付費は今後も増えると予測されます。
- ・平成30年度の国保制度改革により、県に納付する納付金や保健事業に係る経費等から収支を見込んだ保険料を算定します。納付金の増減を考慮しながら、保険料の負担軽減を図る等、安定的に国民健康保険制度を運営すること、健康づくり事業の推進等により保険給付費を抑制することが課題となっています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も継続することが懸念されることから、国の動向等にも注視しながら適正な国保運営に努めてまいります。

◆ 方針（令和4年度の保険料）

- ・令和3年度保険料から、保険料に極端な増減が生じないように暫定賦課方式を廃止し、確定賦課方式に統一しました。
- ・令和4年度の納付金を基準として、マイナス調整するもの（交付金、繰入金、繰越金など）を差し引き、プラス調整するもの（保健事業費、出産育児一時金、直診費用など）を加算し、収納率を考慮して保険料の必要額を算定します。
- ・賦課割合は、賦課総額に対して、所得割50%、均等割35%、平等割15%とします。

◆ 国保財政健全化に向けた取り組み

- ・保険料収納率の向上（収入の確保）
税務課と連携した滞納整理実施、コンビニ納付・スマートフォン決裁の実施、催告・納付相談の実施、短期証交付等
- ・医療費の適正化（支出の抑制）
医療費通知、後発医薬品使用促進、レセプト点検、第三者求償等医療費適正化の推進
- ・保健事業の実施（支出の抑制）
特定健診・保健指導の推進、生活習慣病の予防や重症化予防等

2. 令和4年度の国民健康保険料の料率について

(1) 令和4年度保険料率

保険料率は、県全体の医療給付費等の見込みなどから県が決定した市町村ごとの納付金及び中津川市が国民健康保険事業に係る費用を賄うために、県の示す標準保険料率を参考に保険料率を決定し、必要な保険料を賦課・徴収します。

令和4年度の納付金は、県が令和3年度の医療給付費等の伸び率（+8.9%）を受け、コロナ禍の影響によらない医療給付費等の見込みから1,801,196千円と前年度に比べ89,313千円と約5.2%増加となりました。納付金の増加により、県から示された令和4年度標準保険料率は、令和3年度の保険料率よりも高い値が示されました。これは、必要となる保険料が令和3年度の保険料率では不足している状況を示しています。また、納付金に国保事業費用（保険料を賄い財源とするもの）を加えると、必要な保険料は前年度から大幅増が見込まれます。

○事業費納付金の推移

(単位:千円)

| 各年度の比較 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 事業費納付金 | 1,805,093 | 1,964,971 | 1,711,891 | 1,711,883 | 1,801,196 |
| 前年度比(千円) | | 159,878 | △253,080 | △8 | 89,313 |
| 前年度比(%) | | 108.9% | 87.1% | 100% | 105.2% |

○令和4年度標準保険料率(市町村算定方式)

| 令和4年度 | 所得割 | 均等割 | 平等割 | 賦課限度額 |
|------------|-------|---------|---------|-------|
| 医療給付費分 | 7.17% | 28,967円 | 19,447円 | 65万円 |
| 後期高齢者支援金等分 | 2.57% | 10,168円 | 6,827円 | 20万円 |
| 介護納付金分 | 2.15% | 11,833円 | 5,796円 | 17万円 |

※標準保険料率(市町村算定方式)…市町村ごとの算定基準に基づく保険料率の標準的な水準

○令和3年度賦課保険料率(中津川市)

| 令和3年度 | 所得割 | 均等割 | 平等割 | 賦課限度額 |
|------------|-------|---------|---------|-------|
| 医療給付費分 | 6.64% | 28,500円 | 19,400円 | 63万円 |
| 後期高齢者支援金等分 | 2.40% | 9,900円 | 7,000円 | 19万円 |
| 介護納付金分 | 1.95% | 11,000円 | 5,700円 | 17万円 |

令和4年度の保険料率は、毎年の納付金の増減を理由に、被保険者への保険料負担が増減することを防ぐこと及びコロナ禍による所得減少などを勘案し、激変緩和措置として決算剰余金のうち7千万円と特別交付金2千万円を保険料に充て被保険者の負担軽減を図ります。

令和4年度保険料率は、次のとおりとします。

| 区分 | 令和4年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--|
| 医療給付費分 | 所得割 6.89% 均等割 28,500円 限度額 650,000円 平等割 19,700円 | 所得割 6.64% 均等割 28,500円 限度額 630,000円 平等割 19,400円 |
| 後期高齢者支援金等分 | 所得割 2.49% 均等割 10,100円 限度額 200,000円 平等割 7,000円 | 所得割 2.40% 均等割 9,900円 限度額 190,000円 平等割 7,000円 |
| 介護納付金分 | 所得割 2.19% 均等割 11,200円 限度額 170,000円 平等割 5,700円 | 所得割 1.95% 均等割 11,000円 限度額 170,000円 平等割 5,700円 |
| 合計 | 所得割 11.57% 一人当たり 99,466円 (635円増) 均等割 49,800円 一世帯当たり 153,251円 (253円増) 平等割 32,400円 | 所得割 10.99% 一人当たり 98,831円 均等割 49,400円 一世帯当たり 152,998円 平等割 32,100円 |

(2) 保険料率の算定方法

- 1) 納付金及び国民健康保険事業に係る費用（保健事業費、出産育児一時金など）の支出見込額から県支出金、繰入金などの収入見込額を差し引いた額が保険料の必要額となります。

$$\begin{array}{rcl} \text{○支出見込額} & & \text{○収入見込額} & & \text{○保険料必要額} \\ 7,889,987 \text{ 千円} & - & 6,477,395 \text{ 千円} & = & 1,412,592 \text{ 千円} \end{array}$$

- 2) 激変緩和措置として決算剰余金を保険料必要額に充てます。

$$\begin{array}{rcl} \text{○保険料必要額} & & \text{○決算剰余金} & & \text{○保険料必要額} \\ 1,412,592 \text{ 千円} & - & 70,000 \text{ 千円} & = & 1,322,592 \text{ 千円} \\ & & \text{○特別交付金} & & \\ & & 20,000 \text{ 千円} & & \end{array}$$

- 3) 保険料必要額を確保するため、収納率を見込んだ額を保険料の賦課額とし、これを基礎として、被保険者数や基準総所得金額の推移などを勘案し、保険料率を算定します。

$$\begin{array}{rcl} \text{○保険料必要額} & & \text{収入見込率} & & \text{●保険料の必要賦課額} \\ 1,322,592 \text{ 千円} & \div & 92.5\% & = & 1,429,829 \text{ 千円} \end{array}$$

(3) 令和4年度の保険料の必要額

(単位：円)

| 歳入の状況 | 2年度決算額 | 3年度決算見込額 | 4年度予算額 |
|----------|---------------|---------------|-------------------------|
| 国民健康保険料 | 1,495,826,875 | 1,434,580,955 | ※ (滞納繰越分) 71,365,000 |
| 手数料 | 684,304 | 561,073 | 800,000 |
| 国庫支出金 | 5,970,000 | 1,196,000 | 1,000 |
| 療養給付費交付金 | 1,262,684 | 0 | 1,000 |
| 県支出金 | 4,617,994,827 | 5,014,118,196 | 5,839,111,000 |
| 財産収入 | 406,186 | 503,000 | 625,000 |
| 繰入金 | 527,000,204 | 528,697,235 | 556,018,000 |
| 繰越金 | 367,623,801 | 380,322,616 | 1,016,000 |
| 諸収入 | 15,973,243 | 4,986,578 | 8,458,000 |
| 歳入合計 | 7,032,742,128 | 7,364,965,653 | 6,477,395,000 |

| 歳出の状況 | 2年度決算額 | 3年度決算見込額 | 4年度予算額 |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| 総務費 | 141,067,362 | 134,340,096 | 153,214,000 |
| 保険給付費 | 4,483,196,001 | 4,882,726,835 | 5,792,300,000 |
| 県事業費納付金 | 1,711,887,359 | 1,711,881,383 | 1,801,196,000 |
| 保健事業費 | 74,752,752 | 75,897,361 | 111,204,000 |
| 諸支出 | 41,516,038 | 55,851,884 | 27,073,000 |
| 予備費 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 歳出合計 | 6,452,419,512 | 6,860,697,559 | 7,889,987,000 |

【令和4年度予算額】

(歳入)

(歳出)

| | | | |
|---------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|
| 歳入歳出差引額 | 歳入見込 6,477,395,000 | 歳出見込 7,889,987,000 | 保険料必要額 ▲ 1,412,592,000 |
|---------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|

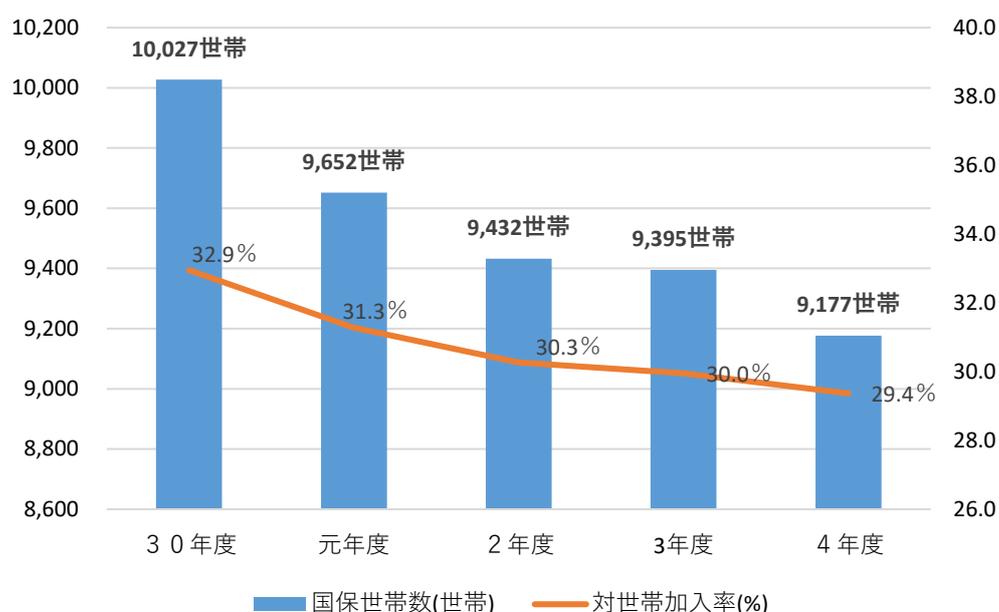
(保険料の必要額)

国民健康保険被保険者の状況

(1) 世帯数と加入率の推移

4月1日現在

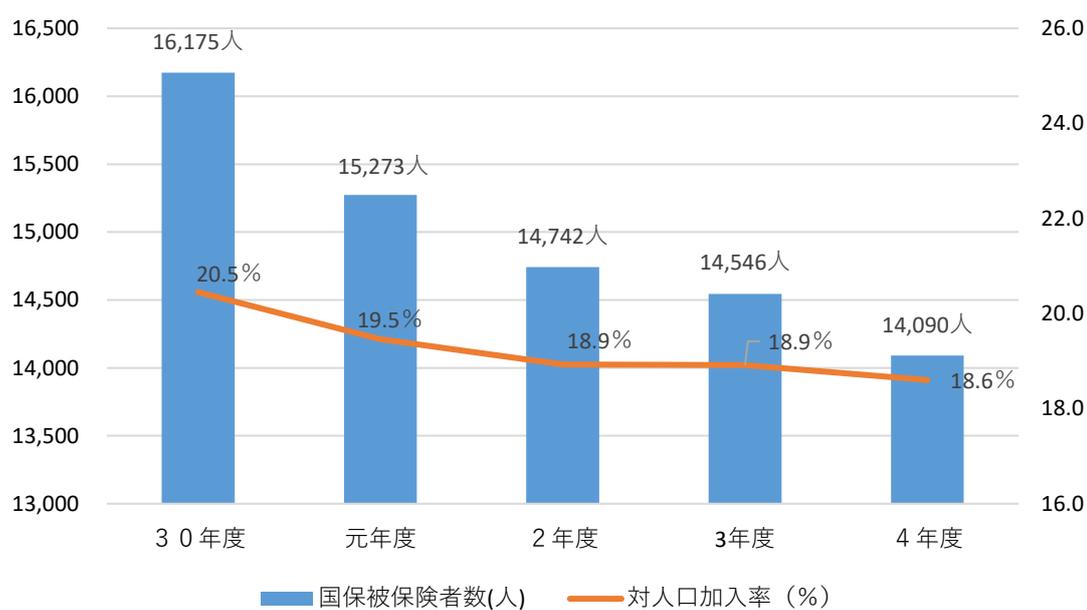
国保世帯数と加入率



(2) 被保険者数と加入率の推移

4月1日現在

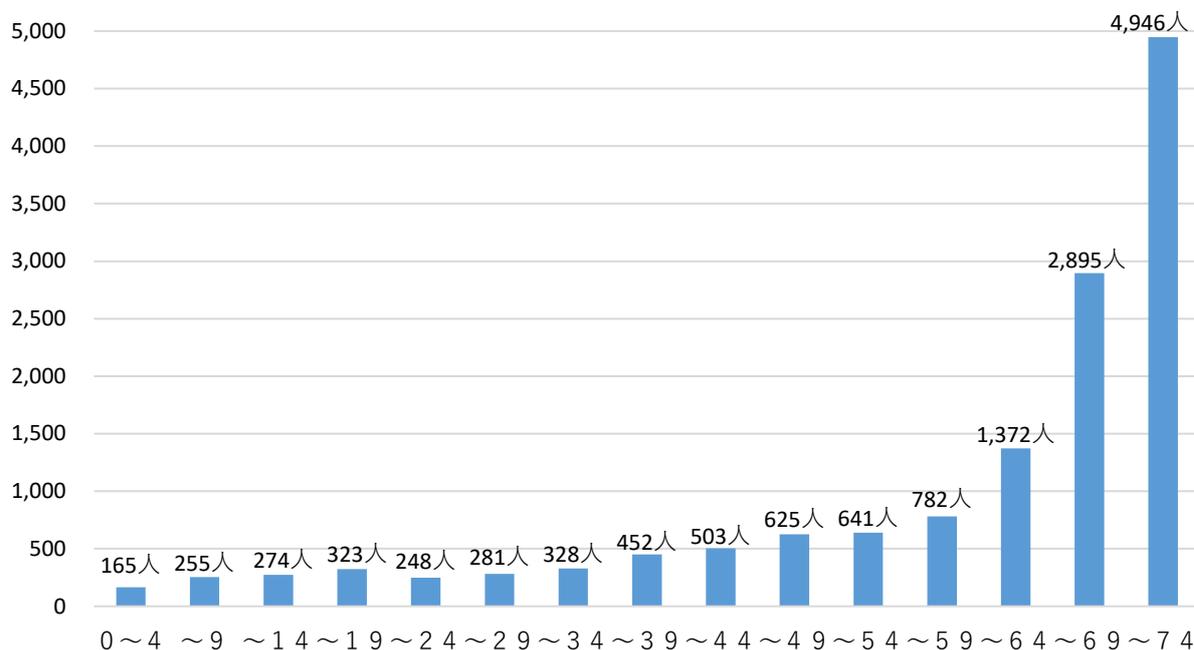
国保被保険者数と加入率



(3) 年齢階層別被保険者

令和4年4月1日現在

年齢階層別被保険者数(人)

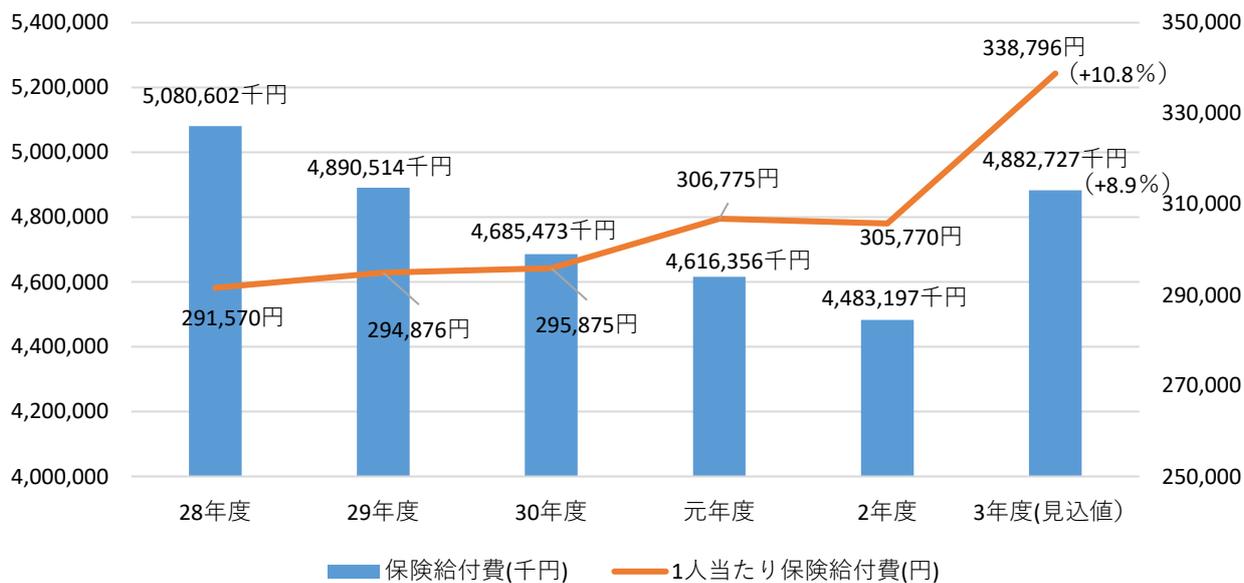


保険給付費の推移

(1) 保険給付費総額の推移

(保険給付費 ÷ 年間平均被保険者数)

保険給付費の推移

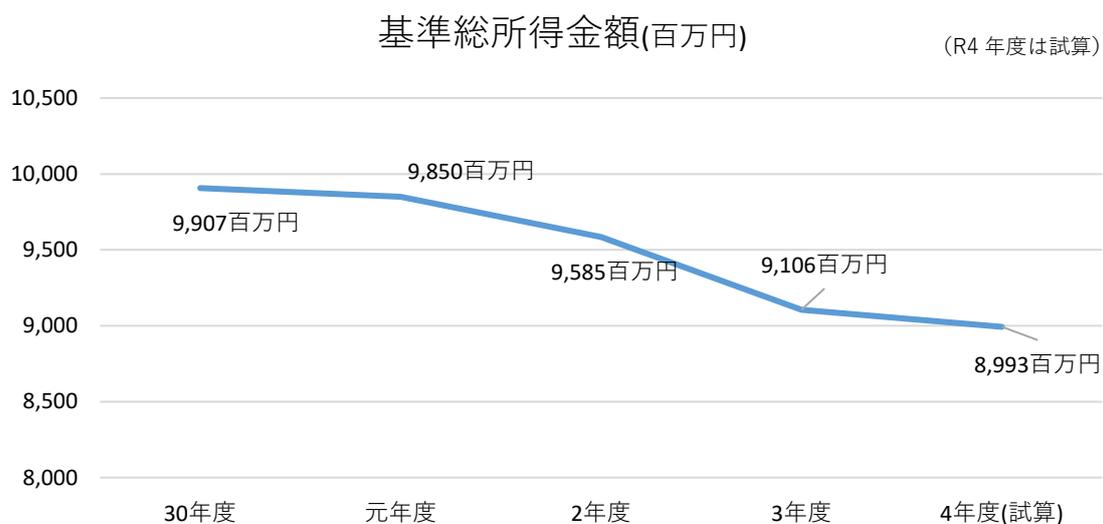


保険料について

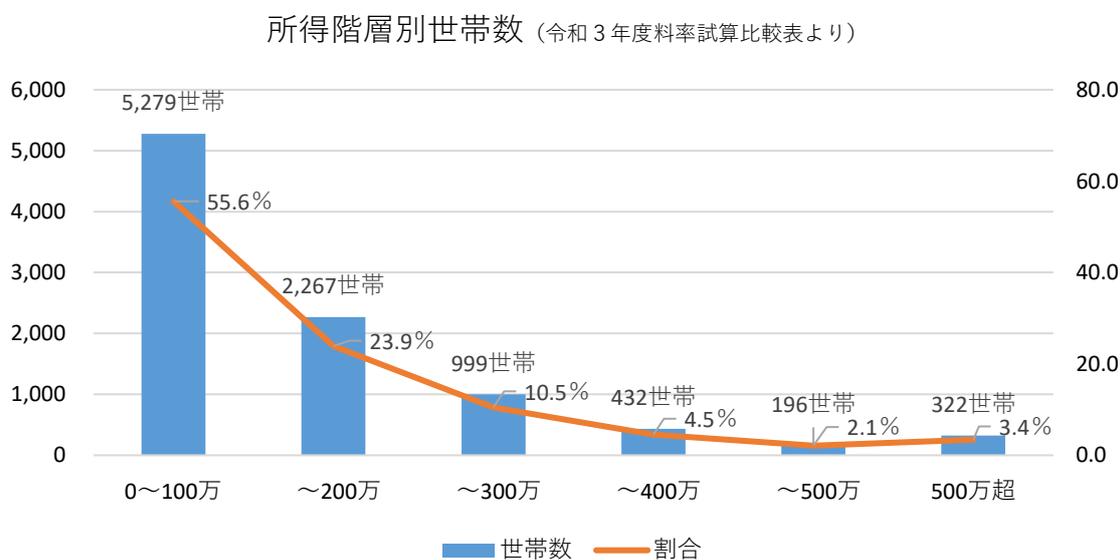
(1) 収納率の推移

| | 29年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度見込 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 現年分(%) | 92.89 | 93.15 | 93.75 | 95.18 | 93.80 |
| 滞納繰越分(%) | 14.46 | 15.45 | 18.41 | 17.09 | 19.02 |

(2) 基準総所得金額の推移



(3) 所得階層別国保加入世帯数



(4) 保険料率の推移

<医療分>

(4/1 現在有資格者のみ 4年度は試算)

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 総世帯数 | 10,109 世帯 | 9,725 世帯 | 9,563 世帯 | 9,484 世帯 | 9,330 世帯 |
| 被保険者数 | 16,278 人 | 15,382 人 | 14,936 人 | 14,682 人 | 14,375 人 |
| 基準総所得金額 | 9,906,544,863 円 | 9,849,673,055 円 | 9,584,924,311 円 | 9,105,519,928 円 | 8,993,000,000 円 |
| 固定資産税額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 所得割率 | 6.47% | 6.78% | 6.64% | 6.64% | 6.89% |
| 資産割率 | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% |
| 均等割額 | 27,400 円 | 29,800 円 | 28,500 円 | 28,500 円 | 28,500 円 |
| 平等割額 | 19,700 円 | 21,200 円 | 19,400 円 | 19,400 円 | 19,700 円 |
| 賦課保険料 | 1,061,327,800 円 | 1,079,567,500 円 | 1,034,185,000 円 | 990,007,000 円 | 981,034,500 円 |

<後期支援分>

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 総世帯数 | 10,109 世帯 | 9,725 世帯 | 9,563 世帯 | 9,484 世帯 | 9,330 世帯 |
| 被保険者数 | 16,278 人 | 15,382 人 | 14,936 人 | 14,682 人 | 14,375 人 |
| 基準総所得金額 | 9,906,544,863 円 | 9,849,673,055 円 | 9,584,924,311 円 | 9,105,519,928 円 | 8,993,000,000 円 |
| 固定資産税額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 所得割率 | 2.27% | 2.27% | 2.40% | 2.40% | 2.49% |
| 資産割率 | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% |
| 均等割額 | 9,600 円 | 9,800 円 | 9,900 円 | 9,900 円 | 10,100 円 |
| 平等割額 | 6,900 円 | 7,100 円 | 7,000 円 | 7,000 円 | 7,000 円 |
| 賦課保険料 | 369,820,600 円 | 357,290,300 円 | 364,154,700 円 | 348,645,900 円 | 347,489,500 円 |

<介護分>

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 総世帯数 | 4,030 世帯 | 3,733 世帯 | 3,584 世帯 | 3,481 世帯 | 3,383 世帯 |
| 被保険者数 | 4,880 人 | 4,506 人 | 4,268 人 | 4,141 人 | 4,010 人 |
| 基準総所得金額 | 4,114,719,477 円 | 4,115,610,653 円 | 3,851,473,210 円 | 3,548,130,498 円 | 3,476,630,000 円 |
| 固定資産税額 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 | 0 円 |
| 所得割率 | 1.54% | 1.75% | 1.95% | 1.95% | 2.19% |
| 資産割率 | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% | 0.00% |
| 均等割額 | 9,100 円 | 11,000 円 | 11,000 円 | 11,000 円 | 11,200 円 |
| 平等割額 | 4,700 円 | 5,700 円 | 5,700 円 | 5,700 円 | 5,700 円 |
| 賦課保険料 | 108,122,300 円 | 116,861,500 円 | 120,399,000 円 | 112,382,200 円 | 114,526,200 円 |

<全体分>

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一世帯当保険料 | 152,267 円 | 159,765 円 | 158,814 円 | 152,998 円 | 153,251 円 |
| 一人当保険料 | 94,561 円 | 101,009 円 | 101,683 円 | 98,831 円 | 99,466 円 |

議第 2 号 中津川市国民健康保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による保険料の減免を継続するため、改正する。

保険料の減免に関する改正

(令和 4 年第 3 回中津川市議会 (定例会) に議案を上程予定)

| 概 要 | <p>■改正の背景と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少したこと等による保険料の減免に対する国の財政支援を踏まえ、被保険者等に対する保険料の減免を講じてきた。 この度、令和 4 年度における保険料に関する国の財政支援が新たに決定されたところであるが、今後において、当該財政支援の決定に基づく迅速な減免及び周知を可能とするため、減免に係る要件の一部を市長権限により決定することとしたい。 <p>■改正の内容</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免に係る要件の一部を市長が定められるよう、規定を整備する。</p> <p>■市民への影響</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた被保険者等に対して、保険料の軽減を迅速に行うことができる。</p> <p>《保険料の減免対象世帯》</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負った世帯 新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入減少が見込まれる世帯 <p>○減免実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">上記①対象世帯</th> <th colspan="2">上記②対象世帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> <td>63 件</td> <td>10,570,200 円</td> </tr> <tr> <td>令和 3 年度</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> <td>13 件</td> <td>2,394,400 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■施行期日</p> <p>公布の日</p> | 年度 | 上記①対象世帯 | | 上記②対象世帯 | | 令和 2 年度 | 0 件 | 0 円 | 63 件 | 10,570,200 円 | 令和 3 年度 | 0 件 | 0 円 | 13 件 | 2,394,400 円 |
|---------|--|-----|---------|--------------|---------|--|---------|-----|-----|------|--------------|---------|-----|-----|------|-------------|
| 年度 | 上記①対象世帯 | | 上記②対象世帯 | | | | | | | | | | | | | |
| 令和 2 年度 | 0 件 | 0 円 | 63 件 | 10,570,200 円 | | | | | | | | | | | | |
| 令和 3 年度 | 0 件 | 0 円 | 13 件 | 2,394,400 円 | | | | | | | | | | | | |

保健事業について

1. 令和3年度特定健診の状況

特定健診…生活習慣病リスクの早期発見と生活習慣病発症予防を目的として、メタボリックシンドロームに着目した項目の検査を行います。対象は国保に加入している方です。生活習慣病を予防することで、対象者の健康寿命の延伸と医療費の適正化につながります。

〈受診率の状況〉

法定報告値

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 (R4.5.2時点) |
|----------|--------|--------|--------|---------------------|
| 健診対象者（人） | 11,596 | 11,131 | 11,076 | 10,845 |
| 受診者数（人） | 4,353 | 4,870 | 4,194 | 3,759 |
| 受診率 | 37.5% | 43.8% | 37.9% | 34.7% |

令和2年度から健診実施期間を延長し、令和3年6月から令和4年2月まで特定健診を実施しました。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受診控え等を理由に受診率は低下傾向となっています。

受診率向上のための対策として令和4年度から特定健診の集団健診のWeb予約を新しく始めます。今までは電話や窓口での予約のみでしたが、24時間365日受付可能なWeb予約を導入することで、これまでより予約がしやすい環境を整えました。

〈情報提供事業〉

法定報告値

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 (R4.4.1時点) |
|---------|--------|--------|---------------------|
| 対象者（人） | 1,428 | 1,164 | 1,260 |
| 提供者（人） | 372 | 226 | 207 |
| 提供率 | 26.1% | 19.4% | 16.4% |
| 個別医療機関数 | 33医療機関 | 55医療機関 | 55医療機関 |

生活習慣病にて治療中のため特定健診を受診されない方が、医療機関で実施した検査データを医療機関を通してご提出いただく「情報提供事業」の実施状況は昨年度より減少しました。

これまでは糖尿病で治療中の方を中心に情報提供事業をご案内していましたが、今後はより多くの方に健診結果を提供していただけるよう案内送付の対象を検討しています。

2. 中津川市が取り組むべき課題

高血圧

(令和3年度特定健診結果)

| | H30 | R1 | R2 | R3 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| 正常～正常高値 | 48.3% | 45.8% | 40.9% | 39.5% |
| 高値 | 29.6% | 31.1% | 31.1% | 31.6% |
| I度高血圧 | 17.4% | 17.9% | 21.5% | 22.6% |
| II度高血圧以上 | 4.7% | 5.2% | 6.5% | 6.3% |

高血糖

(令和3年度特定健診結果)

| | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 5.5以下 | 45.2% | 44.5% | 44.7% | 46.9% |
| 5.6～5.9 | 35.8% | 33.4% | 32.1% | 31.4% |
| 6.0～6.4 | 11.6% | 12.5% | 12.9% | 12.5% |
| 6.5以上 | 7.4% | 9.6% | 10.3% | 9.2% |

特定健診の結果を見ると、高血圧と高血糖の方の割合が多い傾向にあります。血圧と血糖は重点課題として対面での保健指導に取り組んでいます。

今後も受診勧奨判定値となる対象の方には医療機関受診勧奨、保健指導を実施し継続的な支援に取り組めます。

3. 糖尿病重症化予防の取り組み状況

〈糖尿病重症化予防プログラム〉

HbA1c・血糖値が高い未治療者や治療中断者に受診勧奨を行い、医師から指導依頼を受けた方には栄養指導を実施しています。

また、糖尿病の治療中の方で主治医から指導依頼を受けた方に対しても栄養指導を行い医療機関との連携をとっています。

〈慢性腎臓病予防〉

令和4年度から腎機能の評価指標であるeGFRの記録用紙を特定健診受診者に配布します。記録用紙に検査結果を書き込むことで、自分の腎臓の状態が確認できます。具体的な配布対象については検討中です。